新里のサクラソウ群落

所　在　地　桐生市新里町赤城山舟原、畑平地区、
　　新里町板橋西窪地区
管　理　者　桐生市

新里のサクラソウは、主に標高４５０m付近の鏑木川上流やその支流に自生しており、毎年４月下旬から５月中旬にかけて見ごろを迎え、市内外から多数の見学者が訪れ人々の目を楽しませてくれる。

昭和５１年９月に赤城山、板橋地区３カ所の自生地を天然記念物に指定した。さらに平成８年３月には、村指定のうちの赤城山字舟原地区約１６００平方メートルの自生地が県の天然記念物に指定された。

サクラソウは、サクラソウ科の多年草。花弁は紅紫色で５つに裂け、さらにその一つの花弁の中央に浅い切り込みが入っている。雄しべは５個で、雌しべは１個あり、株によって長いものと短いものがある。

（桐生市ホームページより）